【授業科目】チーム医療演習Ⅰ(Early exposure)

Practice of Team Approach to Health Care Ⅰ

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
杉浦 諭、豊田 妙子、大西 信行 後藤 由紀、山口 央輝、榎本 喜彦	1年次 前　期	必修	1	30	演 習	あり	巻末 掲載	可

授業概要 (内容と進め方) 及び課題に対する ﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／チーム医療の一員として多職種連携を実践するにあたり、まず各科における専門性を理解しなければならない。看護と臨床検査の意義と看護師・臨床検査技師の業務内容をそれぞれ理解し、これから修得すべき専門科目はどのような意味を持つかを認識させる。本科目は1年前期に実施し施設見学などを実施し、仕事内容だけでなく、医療人としての規律、マナーなど職業観と職業倫理を高め、専門医療職を目指す志を確固たるものにすることを目的とする。看護学科との合同講義も実施し他職種の仕事内容も同時に理解させる。 課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法／提出されたレポートにはコメントすることでフィードバックを行う。
実務経験に関する 授業内容	医師、看護師、保健師、臨床検査技師の臨床経験をもつ教員が、医療専門職として必要なチーム医療のあり方について、実経験を交えながら指導していく科目である。
授業の 位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー④「幅広い視野で臨床検査を考え、ヘルスケアシステムにおける臨床検査の専門性を理解し、保健･医療・福祉の専門職と連携し、地域社会に貢献できる。」の達成に寄与している。
到達目標 (履修者が到達 すべき目標)	①チーム医療の現状と将来像を説明できる。 ②チーム医療における他職種の業務を理解できる。 ③他学科学生とのコミュニケーションをとるためのスキルを身に付けることができる。 ④将来の職業像、専門性を理解できる。
時間外学習に 必要な学修内容 および学習上の助言	毎回の演習・講義内容について復習とまとめを行う(1時間)。 各学科職種の専門性を理解し、他学科学生に説明できるようにする。また他学科学生とのコミュニケーションを積極的にとることができるようになり、チーム医療、チーム意識を身に付けてほしい。 ※上記時間については、指定された学修課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間／1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間／1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間／1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。

授業計画		
	第 1 回　ガイダンス・グループ分け・アイスブレイク	共同
	第 2 回　他己紹介①	共同
	第 3 回　他己紹介②	共同
	第 4 回　グループワーク：チーム医療における看護師の役割	共同
	第 5 回　グループワーク：チーム医療における臨床検査技師の役割	共同
	第 6 回　グループワーク：チーム医療における助産師の役割	共同
	第 7 回　グループワーク：チーム医療における保健師の役割	共同
	第 8 回　グループワーク：チーム医療における医師の役割	共同
	第 9 回　チーム医療とは	杉浦
	第 10 回　臨床現場における看護師の業務	豊田
	第 11 回　臨床現場における保健師の業務	後藤
	第 12 回　臨床現場における臨床検査技師の業務①	榎本
	第 13 回　臨床現場における臨床検査技師の業務②	榎本
	第 14 回　臨床現場における医師の業務	山口
	第 15 回　在宅・地域医療における臨床検査技師の役割	杉浦

評価方法 評価基準	成績は以下の評点配分によって総合的に判断する。 学期末試験 50%、　レポート 50%		
教科書	なし（必要に応じて資料を配付します）	参考書等	なし
学生への メッセージ	皆さんが目指す医療職に関し、お互いの職能と知識を共有し、チーム医療の根本となるチーム意識を高めてほしい。コミュニケーションスキルの向上にも期待します。		